

CSDB

Chugoku-Shikoku Defense Bureau

中国四国防衛局広報誌

日米交流事業 「SUO-OSHIMA日米こどもサッカー」



中国四国防衛局

Vol. 70

Dec. 2025

目次 Contents

- 2 日米交流事業（日米こどもサッカー）（山口県周防大島町）
- 3 令和7年版 防衛白書の地方公共団体等への説明
- 4 岩国錦帯橋空港利用者500万人達成セレモニー
陸上自衛隊日本原駐屯地創設記念行事
- 5 第40回防衛問題セミナー（岡山県岡山市）
- 7 自衛隊等特有の施設の建設工事～調達部の業務紹介
- 9 令和7年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式（呉地区）
- 10 令和8年度採用予定者（一般職大卒程度）内定式
令和7年度 中国四国防衛局永年勤続者表彰式
- 11 中国四国防衛局 岩国防衛事務所のご紹介
中国四国防衛局 職員日記（岩国防衛事務所）



表紙について

令和7年11月15日（土）
令和7年度日米交流事業
「SUO-OSHIMA日米こどもサッカー2025」

CSDB
Chugoku-Shikoku Defense Bureau



中国四国防衛局

Vol. 70
Dec. 2025

編集・発行
中国四国防衛局
（広報委員会編集）

〒730-0012
広島県広島市中区
上八丁堀6-30

Tel
082-223-7109

中国四国防衛局HP



中国四国防衛局
広報
X（旧Twitter）
@chushiDB_koho

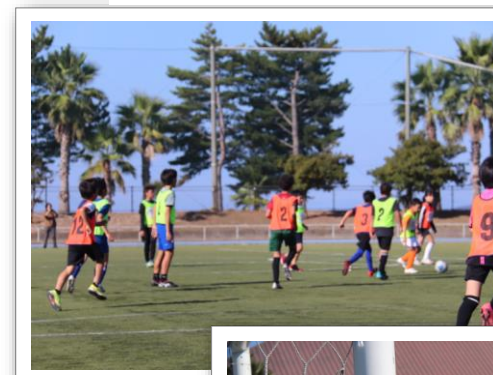


日米交流事業「日米こどもサッカー」（山口県周防大島町）

令和7年11月15日、山口県大島郡周防大島町にある周防大島町陸上競技場において、周防大島町との共催による日米交流事業「SUO-OSHIMA日米こどもサッカー」を開催しました。

このイベントは、米海兵隊岩国航空基地周辺の住民の方々と米軍人やその家族がスポーツを通じて友好を深めることを目的に実施するもので、今回で10回目の開催となりました。

当日は天候にも恵まれ、周防大島町、岩国市、米海兵隊岩国航空基地のサッカーチームなどに所属する児童及びコーチ約80名が参加し、応援する保護者、関係者にも熱が入り、大いに盛り上がりしました。



周防大島町長
藤本 浄孝



米海兵隊岩国航空基地
司令部司令中隊司令官
フェデリコ・メンディザバル中佐



岩国市教育委員会
教育次長 賀屋 和夫



中国四国防衛局長
深和 岳人



参加した日米の子供たちからは「とても楽しい経験ができました」「新しい友達ができました」といった感想が聞かれ、短い時間ではありましたが、すぐに打ち解け、日米の子供たちの交流を深めることができました。

中国四国防衛局では、今後も地域の皆さまの協力を得て、在日米軍との友好と相互理解を深めるための交流事業を実施してまいります。



令和7年版 防衛白書の地方公共団体等への説明

防衛白書は、できる限り多くの皆さまに、できる限り平易な形で、わが国防衛の現状とその課題及びその取組について周知を図ることを目的として、昭和45年に初めて刊行され、昭和51年以降毎年刊行しているものです。

中国四国防衛局では、地域の皆様に防衛政策についてのご理解を深めていただく一助となるよう、自衛隊地方協力本部及び関係部隊等と連携し、当局管内（中国・四国地方9県）の知事や市長等に防衛白書の内容について毎年説明にお伺いしております。



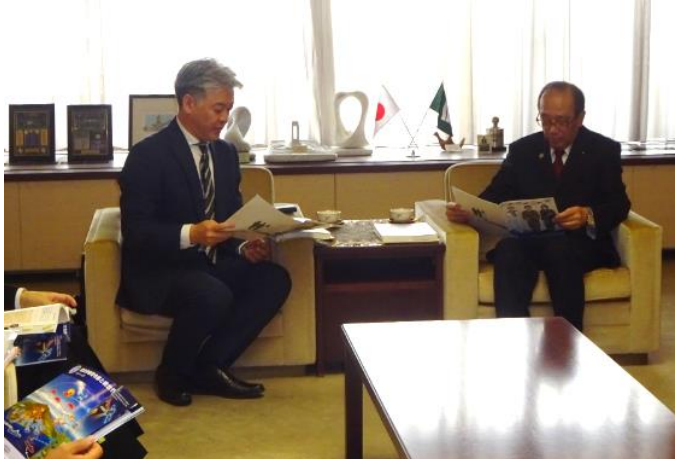
山口県 村岡知事（7.10.16）



岡山県 伊原木知事（7.10.21）



岩国市 福田市長（7.9.2）



広島市 松井市長（7.10.27）



徳島県 後藤田知事（7.11.28）



防衛省HP
防衛白書ページ



「令和7年版防衛白書」は、防衛省HPからご覧いただけます。
<https://www.mod.go.jp/j/press/wp/index.html>



岩国錦帯橋空港利用者500万人達成セレモニー



岩国錦帯橋空港は、令和7年10月11日、米海兵隊岩国航空基地との軍民共用空港としての平成24年12月23日の開港後、利用者が500万人に達しました。

この日、式典において福田良彦岩国市長は、「約13年前、地元の悲願で開港、地域に愛され、ここまで育ちました。これからも地元にも愛される空港として、さらに利用促進と利便性向上に努めます」と挨拶され、500万人目となった搭乗者には山口県と岩国市から記念品が贈呈されました。

また、ターミナルビル南館前での記念植樹には、中国四国防衛局長並びに海上自衛隊第31航空群司令も参加しました。

岩国錦帯橋空港は、令和7年12月1日現在、東京（羽田）線が1日5往復、沖縄（那覇）線が1日1往復運行しています。



陸上自衛隊日本原駐屯地創設記念行事



令和7年9月28日、中国四国地方最大の日本原演習場を併設する陸上自衛隊日本原駐屯地（岡山県勝田郡奈義町）は、駐屯地創設60周年記念行事を行いました。

同駐屯地は一般開放され、式典とともに戦闘訓練の展示も行われ、主力部隊の装備品と隊員たちの迫力ある姿が観客を沸かせ、また、式典前日には、奈義町では初めてとなる町内パレードを行い、住民とともに創設60周年をお祝いしました。



第40回防衛問題 セミナー（岡山県岡山市）

令和7年10月8日、中国四国防衛局は、岡山市内の山陽新聞社さん太ホールにて、第40回防衛問題セミナーを開催しました。

岡山県での開催は3回目となる今回の防衛問題セミナーでは「WPS（女性・平和・安全保障）の取り組み」をテーマに防衛省防衛政策局インド太平洋地域参事官付WPS国際連携室 松沢朝子室長並びに海上自衛隊第201教育航空隊 川合文子 司令を講師にお迎えし、約100名の方々が聴講されました。



講演会場の様子



主催者挨拶
中国四国防衛局長 深和 岳人

本セミナー主催者による挨拶の後、2部構成のセミナーを行いました。

第1部として、松沢室長から「防衛省と女性・平和・安全保障～国内外における取組と進展～」と題して、WPSの概念、防衛省がWPSの推進に取り組む意義と必要性、防衛省WPS推進計画、国内外の活動例などについて、ご講演いただきました。

第2部は、川合司令から「自衛隊における女性隊員の参画～現場の視点から～」と題して、自衛隊の組織、女性自衛官数の推移、女性自衛官採用拡大の背景、我が国を取り巻く安全保障環境、ワークライフバランス・女性活躍の推進などについて、ご講演いただきました。

聴講された方々からは、「防衛省のWPSの取組、海上自衛隊や女性隊員の活躍推進に係る施策等について理解が深まりました」「自衛隊における女性隊員の役割及び重要性について再認識しました。職場内で共有します！」「初めて参加しましたが、今後も色々な内容のセミナーを開催してもらいたい」などといった感想や意見をいただきました。

今後も、防衛問題セミナーを通して、女性隊員の参画やジェンダー視点を踏まえた活動の重要性、併せて、防衛省・自衛隊の取組について、国民の皆様へ「広く知っていただけるように取り組んでまいりますので、お近くの自治体で開催の際には、お気軽にお越しください。



WPS国際連携室 松沢 朝子 室長



第201教育航空隊 川合 文子 司令

防衛問題セミナーのご案内及びこれまでの開催状況については、中国四国防衛局ホームページをご覧ください。



能登半島地震におけるジェンダー視点の反映

被災者（高齢者、女性、児童等）の特性に配慮した活動

- ・妊婦等の緊急患者空輸（海自ヘリコプター）
- ・高齢者の施設へのシャワー支援

女性を含む編成による多様性を持った活動

- ・民間契約船舶支援隊長の女性隊員の起用
- ・女性隊員による幼児・女性等ニーズ把握



ワークライフバランス・女性の活躍の推進

女性自衛官の採用・登用の拡大

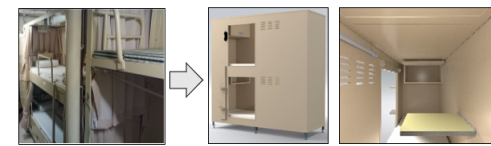
- 女性自衛官の配置制限の解除

働き方改革

- 長時間労働の是正や休暇の取得の促進 ➡ 育児や介護との両立
- テレワーク勤務の推進

生活・勤務環境の改善

- 全国8か所の駐屯地などに庁内託児施設を整備
- 任期付の職員の採用 ➡ 育児休業などの間の代替要員を確保
- 隊舎の個室化 ➡ プライバシーに配慮した生活環境の整備
- 隊舎・艦艇に女性用区画を整備、女性用トイレ・浴場の新設・改修



ハラスメントを許容しない環境の構築

- 隊員への教育、相談窓口の設置、懲戒処分の迅速化

全ての隊員が高い士気と誇りを持ち、個々の能力を発揮できる環境整備を推進



WPSって Women, Peace and Security (WPS)

知ってる？

国連とWPS - なぜWPSが生まれたの？ -

1990年代の内戦により

1990年代 旧ユーゴスラヴィア内戦
性暴力が国際的な問題になる

1995年 世界女性会議
紛争解決の意思決定への女性の参加増大を目指す

1998年 国際刑事裁判所規程
紛争下の性的暴力は戦争犯罪と明記

これを受けて...

2000年、国際紛争の予防・平和維持等あらゆるレベルで女性を「積極的主体」として位置付けた初めての国連安保理決議である「女性・平和・安全保障に関する決議第1325号」が全会一致で採択

日本とWPS - 日本政府はどんな取組をしているの？ -

- ・WPSに関する行動計画を策定
- ・多くの大規模自然災害を乗り越えてきた経験から、紛争のみならず災害の項目も含んでいる

WPSとは？

- ・紛争、災害等発生時により脆弱な立場に置かれる女性、女児等は特に保護すべき対象であると認識して保護・救済に取り組みつつ、
 - ・女性が指導的及び主体的に、紛争解決や災害対応のあらゆる段階に参加
- ➡ より持続的な平和に資することができるという考え方。



この資料は、2024年4月に策定された防衛省WPS推進計画を踏まえ、WPSの概要や防衛省の取組についてわかりやすい表現で説明したものです。詳細は、防衛省のWEBサイト <https://www.mod.go.jp/j/approach/wps/index.html> をご覧ください。

WPSについての詳細は、防衛省のWEBサイトをご覧ください。
<https://www.mod.go.jp/j/approach/wps/index.html>



自衛隊等特有の施設の建設工事

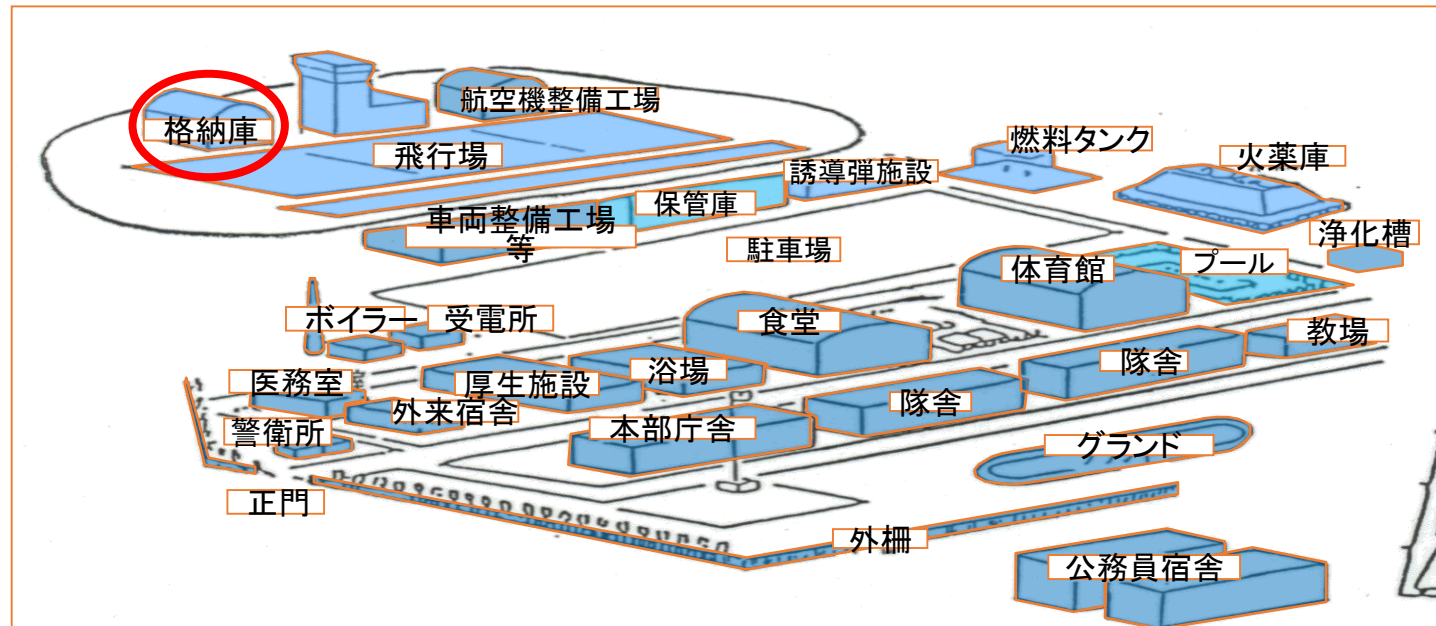
～ 調達部の業務紹介

調達部は、自衛隊駐屯地・基地等や在日米軍基地内の建設工事を行っています。

取り扱っている施設は、下図の概念図の通り、飛行場や航空機・車両の整備工場といった部隊運用に不可欠なものや、隊舎、庁舎、食堂など隊員が訓練や生活に使用するものなど多種多様です。

また、火薬庫、戦闘機用格納庫など防衛省特有の施設があり、有事の際にも機能させるため、特別な防護性能を備えた施設もあります。

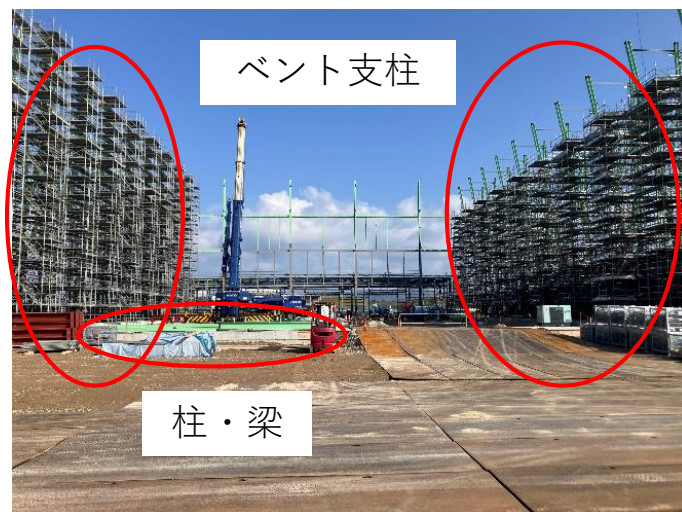
これらの整備を、設計コンサルタントや建設会社と契約し、調達部職員がその監督・検査を行うことにより、調査・設計から建設工事まで一貫して実施しています。



防衛施設 概念図

今回は自衛隊等の特有の施設の一つである、航空機用の「格納庫」の建設工事を紹介します。
(概念図中の赤枠内)

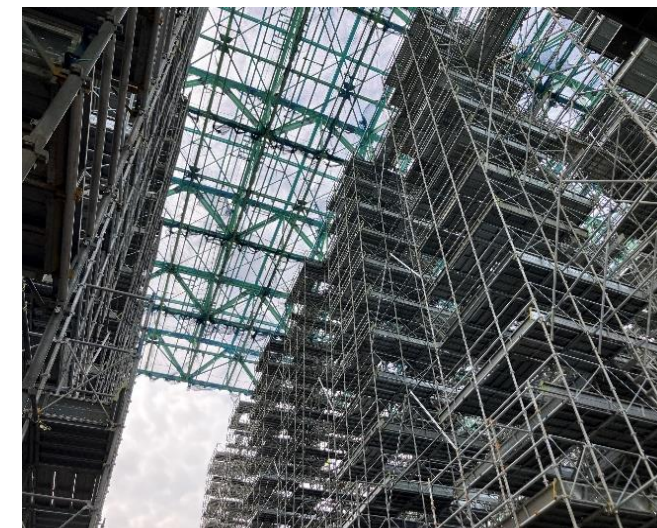
「格納庫」の完成写真です。
航空機を格納するため、スパン約60m、高さ約30mの大空間が必要となります。
以下に、大空間の施設を建設する工法を説明します。



左右に「ベント支柱」という足場を設置します。
ベント支柱は、大スパンの柱や梁（緑色の部材）を支える仮設支保工です。
この写真は、左右の柱が完成したところです。
ベント支柱は梁トラスを支える高さまで組み上げます。



左右のトラス（緑色の部材）の設置が完了したのち、中央のトラスを設置している状況です。
(写真右)



トラス（緑色の部材）の設置が完了した状況です。(写真右)
この後、ボルトの本締め、ジャッキダウンを行い、トラスの荷重を本体構造に移し、ベント支柱を解体します。
ベント支柱解体後、屋根及び外壁の鉄板を張る工事を行い、トラスの下に吊り足場を設置し、設備工事（照明、暖房等）を行うことで格納庫を完成させます。

この様な大空間構造物など、自衛隊等の特有の施設を含む、様々な防衛施設の建設工事に調達部は携わっており、物づくりの楽しさを感じられるとともに、我が国の防衛力を支える必要不可欠な基盤を整備する重要な役割を担っています。

屋根を支えるための梁トラス（緑色の部材）を設置している状況です。(写真左)
ベント支柱に梁トラスの荷重を支持させながら仮組していきます。
ベント支柱は、鉄骨建て方が完了するまでの間、トラスの荷重を支えます。



建物中央部のベント支柱を見上げた状況です。(写真左)
ベント支柱は、トラス重量と施工時荷重により支持部材の算定を行い、安全性を確認したうえで施工しています。





令和7年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式(呉地区)

今年度も、在日米軍基地及び諸機関において長年にわたり勤務され、それぞれ重要な職務に精励された122名(呉地区16名、岩国地区106名)の方々を、在日米軍従業員永年勤続者として表彰することとなりました。

このうち、米陸軍第10支援群弾薬廠(呉地区)に勤務する従業員の永年勤続者表彰式が10月7日に開催され、中国四国防衛局長及び第10支援群弾薬廠司令官から表彰状と記念品が授与されました。

局長、司令官及び来賓の新原芳明呉市長から長年の貢献に対する感謝とお祝いの言葉が贈られ、被表彰者代表からは「この意義ある式を糧として、これからも在日米軍施設の円滑な運営のため、従来にも増して職務の遂行に励み、一致団結して日米両国の架け橋としての役割を果たして参ります」と謝辞が述べられました。

今回、永年勤続者表彰を受けられた方々には、日頃、日米の架け橋として職務に精励されていることに敬意を表しますとともに、今後も、より一層御活躍いただくことを祈念します。



呉地区における表彰式の様子
(令和7年10月7日「ビューポートくれ」で実施)



令和8年度 採用予定者(一般職大卒程度)内定式

令和7年10月1日、令和8年度採用予定者の内定式を執り行いました。

参加した内定者の皆さんには緊張の中にも意欲的な姿勢が見られ、当局の未来を担う仲間としての大きな期待を感じました。

内定式では、総務部長から今後の成長を後押しする温かい言葉が贈られました。

式典後には、局長との懇談の場が設けられるとともに、若手先輩職員との懇談会も行われ、内定者の皆さんの笑顔があふれる場面も見られました。

来春から防衛省職員として活躍されることを中国四国防衛局員一同心より楽しみにしております。



令和7年度 中国四国防衛局永年勤続者表彰式

令和7年11月4日、「中国四国防衛局永年勤続者表彰式」を執り行いました。

防衛大臣に代わり中国四国防衛局長から表彰対象職員に対し、永年の勤務にわたる功績を称える表彰状と記念品が授与され、日頃の感謝の気持ちを伝えるとともに、今後とも永年培われてきた豊富な知識と経験を活かし、任務に誇りをもって取り組むよう激励しました。





中国四国防衛局 岩国防衛事務所のご紹介



岩国防衛事務所は山口県東部の岩国市に所在しており、管轄区域は山口県全域（13市6町）と広島県大竹市です。管内には米軍、陸上自衛隊、海上自衛隊及び航空自衛隊の各部隊があり、米海兵隊岩国航空基地、陸上自衛隊山口駐屯地、海上自衛隊岩国航空基地、海上自衛隊小月航空基地、海上自衛隊下関基地隊、航空自衛隊防府北基地、航空自衛隊防府南基地等の主要施設が所在します。事務所においては、主要施設が所在する自治体や関係機関等との連絡調整、米軍による事件・事故の対応を行っています。

また、米軍施設等で働く従業員の労務管理業務（雇入れ、給与及び福利厚生に関することなど）も行っています。

さて、令和8年後期に放送予定のNHK連続テレビ小説は、岩国市出身の作家、宇野千代さんをモデルとした「ブラッサム」に決まりました。明治生まれの宇野千代さんは、震災や戦争といった困難にも負けず、明るくそして力強い姿勢を貫き、常に前向きに執筆活動が続けるかたわら、編集者としては日本初の女性ファッション誌「スタイル」を創刊する等、幅広く活動されました。強い郷土愛の持ち主としても知られ、平成2年には名誉市民にも選ばれています。



（宇野千代の生家）

宇野千代さんが生き抜いた当時の岩国市がどのように描かれるのか、今から楽しみです。彼女の生家は錦帯橋から徒歩約20分の旧山陽道沿いにあり、駐車場も整備されています。お近くにお越しの際は、ぜひ一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



中国四国防衛局 職員日記（岩国防衛事務所）

私は、令和6年度に入省し、今年が2年目となります。

1年目は中国四国防衛局企画部施設管理課に配属され、今年の4月から岩国防衛事務所の業務課に配属となり、防衛施設の建設工事における建物解体に伴う発生材の管理、基地で働く従業員の給与等に係る小切手の管理や労務管理に関する契約業務をこなしつつ、庶務業務も行っています。

初めの2か月間は主に駐留軍等労働者の給与の支払業務を担当し、慣れない会計業務のため時間に追われる毎日でしたが、新たな知識を得るとともに多くの方とコミュニケーションを取る等、短期間でしたが良い経験ができたと思います。

まだまだ分からない部分が多く勉強の毎日ですが、休日には趣味であるショッピングやカフェ巡り等も楽しみたいと思っています。



ながまつ たくや
（岩国防衛事務所 永松 拓也）